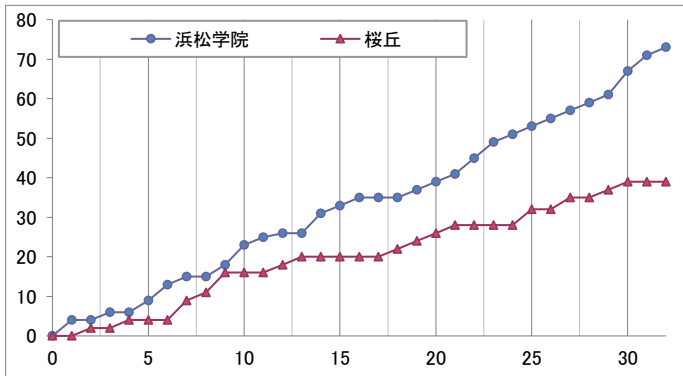




大会名	平成28年度全国中学校体育大会 第46回全国中学校バスケットボール大会																		
会場	福井市体育館																		
日時	2016年8月23日(火) 16:10																		
コート	F Bコート 第6試合																		
カテゴリー	男子選Fリーグ第3試合																		
主審	長谷川 裕																		
副審	虎尾 侑樹																		
TEAM A	TEAM B																		
浜松学院 (静岡)	73 ○	<table border="0"> <tr> <td>15</td><td>1st</td><td>11</td> </tr> <tr> <td>20</td><td>2nd</td><td>9</td> </tr> <tr> <td>16</td><td>3rd</td><td>8</td> </tr> <tr> <td>22</td><td>4th</td><td>11</td> </tr> <tr> <td>—</td><td></td><td></td> </tr> </table>	15	1st	11	20	2nd	9	16	3rd	8	22	4th	11	—			39 ●	桜丘 (大阪)
15	1st	11																	
20	2nd	9																	
16	3rd	8																	
22	4th	11																	
—																			

得点経過



BOXスコア

TEAM A		浜松学院						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	中村 健生 (CAP)	×	2	0	1	0	2	
5	深田 怜音	×	20	0	10	0	2	
6	辺田 涼介	×	16	1	6	1	2	
7	大庭 颯馬	/	3	1	0	0	0	
8	中元 心太郎	×	8	1	2	1	3	
9	原 慶次朗	/	6	0	3	0	0	
10	堀江 俊司	×	4	0	2	0	1	
11	河村 颯哉	DNF	0	0	0	0	0	
12	後藤 陸人	/	8	0	4	0	4	
13	和田 柁大	/	0	0	0	0	1	
14	三好 龍信	DNF	0	0	0	0	0	
15	中川 賢人	/	4	0	2	0	0	
16	葉山 隆誠	/	0	0	0	0	1	
17	中村 颯人	DNF	0	0	0	0	0	
18	曾布川 翔月	/	2	0	1	0	0	
コーチ	石川 友康							
合計			73	3	31	2	16	

TEAM B		桜丘						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	F	
4	高橋 佑弥 (CAP)	×	9	1	2	2	2	
5	中谷 陸人	×	8	0	4	0	2	
6	西島 諒	×	9	1	3	0	2	
7	濱崎 大智	×	9	0	4	1	0	
8	丹藤 和輝	×	2	0	1	0	0	
9	渡辺 陸斗	/	0	0	0	0	1	
10	山下 希生	/	2	0	1	0	0	
11	東 佳汰	/	0	0	0	0	0	
12	持田 虎次朗	/	0	0	0	0	0	
13	横峰 和也	/	0	0	0	0	1	
14	小島 豊	/	0	0	0	0	0	
15	北風 祐樹	/	0	0	0	0	1	
16	竹原 和真	/	0	0	0	0	0	
17	松田 圭太	/	0	0	0	0	0	
18	永山 圭	/	0	0	0	0	0	
コーチ	大庭 晋一							
合計			39	2	15	3	9	

×…スターター /…出場 DNF…未出場 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

近畿ブロック1位の桜丘と東海ブロック1位の浜松学院の対決である。パワーと高さの浜松学院に対し、スピードの桜丘がどのように戦うのか。立ち上がりから予想された展開となった。浜松学院の#10がドライブを決め、#5がリバウンドシュートで加点すると、負けじと桜丘は#5、7がシュートを決める。しかし、#5、6が高いリバウンドで相手にボールを渡さない。波に乗れない桜丘は残り3分でタイムアウト。その後持ち前のスピードを生かした攻めが発揮される。#4のドライブに始まり、#7が力強いバスケットカウントを決める。1Qを、15-11で浜松学院がリードするが、桜丘は反撃の余韻が漂う。2Qは、前Qの勢いをそのまま桜丘が波に乗り、#7がバスケから速攻を決めるなど追い上げムードが高まる。しかし、交代した#7が3Pをしっかりと決めチームに落ち着きをもたらす。その後、じわじわと確実にミドルシュートを決め、浜松学院リードのまま35-20で前半を折り返す。

3Qに入ると、両チームとも予選2試合目ということもあってか足が止まってくる。スローペースの流れになるとやはり際立つのは、浜松学院のリバウンド力とシュート力である。桜丘も必死で追いかけるが、点差はさらに離れて51-28で浜松学院がリードし3Qが終わる。4Q、桜丘は果敢に反撃を試みるが、浜松学院は、#5を中心とした高いリバウンド、そして#4、6、9の確実なシュートで点差を広げ73-39と桜丘を退け、予選リーグ2勝とした。